

はじめに



川越市は、埼玉県南西部地域における産業、経済、文化の中核都市として発展しており、令和4年には市制施行100周年を迎えました。都心に近い立地でありながら、武蔵野の面影を残す雑木林等とともに、多数の河川、広大な水田、畑、湿地など自然豊かな環境が多く残されています。

一方で、地球温暖化による気候変動やそれに伴う気象災害、海洋プラスチックごみ、生物多様性の損失などの全地球的な環境問題が起きており、令和5年には、国内で統計を取り始めてからの125年間で最も暑い夏が訪れ、また、世界各地で大規模な山火事が相次いで起こるなど、深刻なニュースが記憶に新しいことと思います。そのような中、本市が持続可能な発展・成長を遂げていくためには、一人ひとりが環境への配慮や環境に対する影響を意識した行動を心がけ、身近な地域の問題から地球規模の問題まで取り組んでいく必要があります。

本市においては「第三次川越市環境基本計画」及び「川越市緑の基本計画(平成28年3月改定版)」を平成28年3月に策定し、環境と緑に関する施策を総合的かつ計画的に推進してまいりました。また、令和3年5月に「小江戸かわごえ脱炭素宣言」を表明し、2050年脱炭素社会の実現に向けて、国や他の自治体と協力して地球温暖化対策に取り組んでいくことを掲げております。

これらの計画を連動させて取り組むことにより、計画に掲げている「みんなでつくる、自然・歴史・文化の調和した人と環境にやさしいまち」、「みんなではぐくむ水と緑と歴史のまち・川越」の実現を目指していきたいと考えております。

本冊子は、令和4年度における本市の良好な環境の保全・創造と緑の保全・緑地の整備・緑化の推進に関する施策についての実施状況を年次報告書としてとりまとめたものです。

皆様には、本冊子により環境問題への認識をより一層深められますとともに、本市の環境行政を発展させていくためのご意見をいただければ幸いです。

令和6年2月

川越市長 川合善明